

## 県立金沢文庫・歴史博物館現場訪問の結果について

県立金沢文庫及び歴史博物館において、貴重な資料の展示、保存、調査研究といった博物館の活動を視察しました。

### 1 金沢文庫

金沢文庫では、「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録候補地の1つである「称名寺（しょうみょうじ）」に伝わる鎌倉時代の貴重な文化財を保存し、後世に伝えるとともに、その調査・研究の成果を展示や講座を通じて公開しています。



称名寺の境内を視察しました。

ご住職からは、お寺の由緒を教えていただき、本堂を案内していただきました。

永村文庫長から、県立金沢文庫の概要説明を受け、現在開催中の企画展「鎌倉めぐり」を鑑賞しました。この企画展では、江戸時代に鎌倉を訪れた人々のガイドブックであった「鎌倉名所記」とガイドマップ「鎌倉絵図」を中心に展示しています。

鎌倉時代から受け継いできた2万点もの収蔵品は、そのほとんどが重要文化財です。



企画展の鑑賞後は、学芸員との意見交換を行いました。

学芸員は、それぞれ専門分野を持っており、研究成果を展示や学習支援活動に活かしています。



## 2 歴史博物館

歴史博物館では、神奈川に伝わる貴重な美術工芸品、民俗資料、古文書などを保存、展示しており、特に、中世鎌倉や開港期の横浜に係る資料が豊富です。



建物そのものが重要文化財に指定されており、その象徴的存在である屋上ドームを薄井館長の案内で見学しました。

概要説明を受け、常設展を鑑賞しました。

特に、歴史博物館が寄託を受けて展示している「真葛焼（まくずやき）」は横浜で生まれたやきもので、空襲によりその歴史は閉じられましたが、その工芸技術は高く評価されています。



コレクション展示「甦る名刀—館蔵赤羽刀から—」を鑑賞しました。

一本の刀を研ぐのに7種類もの砥石を使い分けています。

鑑賞後は、「真葛焼」を題材にした博物館の魅力発信などについて、学芸員と意見交換しました。

